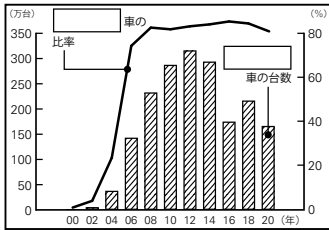


学習課題

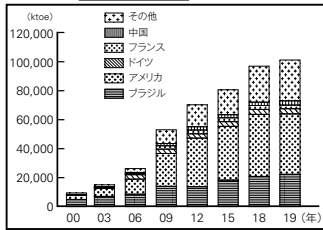
南アメリカで行われている農地の開発は、どのような特色かを調べ課題を見つけよう

1年 組 番 名 前

◎資料A ブラジルのバイオ燃料車の台数と比率の推移



◎資料B バイオ燃料の国別生産量の推移



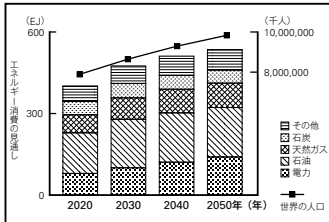
バイオ燃料とは？

バイオマスを石油の代替エネルギーとして利用したアルコール燃料やガス。石油の代替エネルギーとして着目されている。

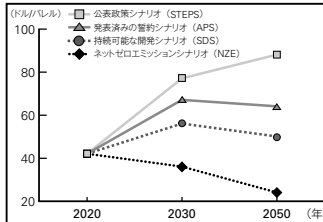
※ブラジル: サトウキビから生産。
※アメリカ: トウモロコシから生産。

生産が増えている背景は？

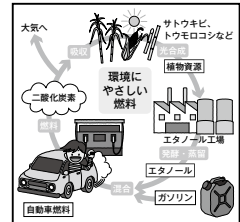
◎資料C 世界の人口とエネルギー消費の見通し



◎資料D 石油価格の将来予想

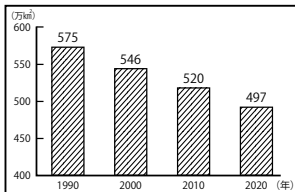


◎資料E バイオ燃料



世界の人口の増加とともに、今後、エネルギー消費が増加し、石油価格の上昇(変動)も予想される。そこで、環境に優しい「バイオ燃料」を、石油の代替エネルギーとして生産するようになってきた。

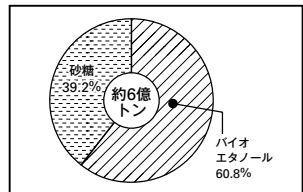
◎資料F ブラジルの森林面積の変化



◎資料G 世界遺産「中央アマゾン保全地域群」

世界最大の熱帯雨林アマゾンは、「地球の肺」と呼ばれ、二酸化炭素の吸収量と酸素の放出量、多様な動植物により形成された独特の生態系、また絶滅危惧種が多数存在するなどの理由から2000年にユネスコ世界自然遺産へと登録された。

◎資料H ブラジルのサトウキビの用途別割合



●ブラジルは、これからもサトウキビを使って、バイオ燃料を作り続けるべきか？

(記入例)

【賛成の考え】(世界全体の)経済発展のためには、エネルギーが必要不可欠である。今後、主なエネルギー源である石油の価格が上昇(変動)したり、なくなったりすることが予想されるから、環境にも優しい代替エネルギーとしてバイオ燃料を作り続けるべき。

【反対の考え】バイオ燃料の生産に伴って、世界自然遺産である森林の面積が減少してきている。また、食料用の作物の栽培面積が減少すれば、農産物の生産が減り、食料の価格が上がるかもしれない。地球環境の保全や現地の人々の生活を第一に考え、バイオ燃料の生産を控えるべき(他のエネルギーに頼るべき)。

まとめ

「バイオ燃料」の原料となる、サトウキビの生産拡大が新たな熱帯雨林の伐採につながっている。環境に配慮した取り組み自体が、その土地のもともとの環境を崩してしまうこともあり、開発と保全のバランス(持続可能な開発)が求められる。